

令和4年度仙台管内社会教育拠点施設訪問

富谷市 あけの平公民館

「とみや学園(高齢者教育事業)沖縄旅行気分」

令和4年7月28日訪問

富谷市では高齢者教育事業として「とみや学園」が開催されている。とみや学園は、シニア世代の皆さんが様々な活動を通して、なかまとふれあいを深め、積極的に明るく楽しい学園ライフを送ることを目的に設立されたシニア応援学園である。

年8回の学習が設定されており、対象は富谷市内在住の概ね60歳以上の方である。参加費は無料だが、学習内容により実費負担がある場合もある。

学習内容の領域は、「生きがい・豊かな生活」「健康づくり」「社会活動」等の領域から年8回、自分で選択して学習する。申込みをした公民館以外でも、市内公民館のどの講座を受講しても良いこととなっている(定員40名以内)。

今回視察させていただいた講座は、あけの平公民館で行われた、第2回の学習会である。コロナ禍において容易に旅行に行くことのできない状況から、気分だけでも旅行旅行を感じてもらいたいという企画となっている。また沖縄に設定した理由は、NHKの朝ドラ「ちむどんどん」が放映され沖縄が身近になっているということであった。

講師は琉球大学を卒業し、沖縄に在住していた奥土晴夫氏(仙台市吉成市民センター館長)と同僚の酒井氏。講義内容は、沖縄の気候、文化、言葉、食文化、そして音楽。沖縄に在住していた奥土氏だからこそ分かる沖縄の姿について写真や動画を活用して講義が行われた。最後は、講師2人での三線の演奏が行われ、三線の旋律が会場内に響き、心地よい空間が広がった。そして、踊り(カチャーシー)を参加者全員で踊り講義が終了した。

参加者からは、「沖縄に実際に行ってみたくなった。」「一度訪問したことがあるが、今度また行く機会があれば、楽しみが増えた」などの感想が聞かれた。

高齢者対象の講座となっており、あけの平公民館の第3回講座は「しんまち・とみやど巡り」の校外学習である。次回の予告を聞く参加者の生き生きとした笑顔から、「生きがいづくり」を感じることができた講座であった。



感染防止に努めて実施しています。



NHK 朝ドラ「ちむどんどん」



沖縄の伝統エイサーまつり



参加者全員で「カチャーシー」を踊ります。喜びも悲しみもかき混ぜて分かち合う、沖縄の舞踊です。



沖縄の楽器「三線」の演奏



沖縄の踊り「カチャーシー(まぜるという意味)」